



議会だより

板野町 ITANOTOWN

<http://www.town.itano.tokushima.jp/add/gikai/>



目次

- ～令和6年第2回定例会～
- P2～P3 提出議案
- P4～P6 一般質問
- P7 全員協議会報告
- P8 議会のうごき など

VOL
6
2024.9.5



板野西幼稚園
みんなで遊ぶと楽しいね！シャボン玉お上手！

例会提出議案

会期は 6 月 4 日～6 月 14 日
合計 13 案件(報告 5 案件・議案 8 案件)
全て可決されました。

令和 6 年度一般会計補正予算 (第 1 号)

5,007 万 2 千円 追加

施設改修工事

- ◆健康の館の老朽化に伴う改修工事..... 1,648 万円
- ◆東公会堂の改修工事..... 550 万円

令和 6 年度一般会計補正予算 (第 2 号)

1 億 6,446 万 9 千円 追加

(補正後の予算総額 62 億 2,446 万 9 千円)

賛成 7 人 反対 2 人 棄権 1 人 で可決

(欠席議員 1)

主な補正の内容と補正額

- ◆定額減税補足給付金..... 5,000 万円
定額減税(令和 6 年分所得税 最大 3 万円)(令和 6 年度住民税 最大 1 万円)により減税しきれなかった方を対象に給付
- ◆住民税非課税世帯等臨時特別給付金 3,107 万 1 千円
令和 6 年度、新たに非課税世帯等となった世帯に10万円を給付
(令和 5 年度に給付を受けた世帯は対象外)
- ◆中央広域環境施設組合負担金..... 6,187 万 1 千円
積替保管施設改造費用や運搬車両確保の費用 ※板野町負担分
- ◆道路工事..... 1,100 万円
町民センター南側の大型車進入道路工事

※賛成討論はありません。

よつて、7 月から 8 月に事業者選定を行った後に、車両購入に関する補正予算を行うのが妥当であり、現時点では時期尚早と考えるため、今回の議案に対して反対する。

ごみの市外への運搬開始は、令和 7 年 8 月以降であり 1 年間もの有る余期間があるため、車両購入に関してだけではない、事業者が選定された後に補正を行っても十分間に合うはずである。

工事・積替え・搬出・運搬・処理業務の事業者は 7 月から 8 月に掛けて、公募型プロポーザルで選定することであるが、公募前に既に車両購入費を予算計上する必要があると考える。

三原議員

反対討論

一般会計補正予算
(第 2 号)

令和6年第2回板野町議会定

令和6年度特別会計国民健康保険補正予算（第1号）

293万7千円 追加

◆電算システム委託料.....289万7千円

保険証の廃止に伴う資格確認書の発行等のためのシステム改修

**報告
専決処分を
承認**

次の条例改正について、専決処分を承認しました。

条例改正

うもの。主に課税限度額と低所得者に係る軽減措置の見直し。

●板野町議会委員会条例の一部改正

水道課を、厚生常任委員会の所管から産業建設常任委員会の所管に変更するもの。

●板野町振興計画策定条例の一部改正

地方自治法の改正に伴い、条文の一部を削除。

●板野町税条例の一部改正（報告第2号）
地方税法の改正に伴う条文の追加や文言の修正。

●板野町国民健康保険条例の一部改正（報告第3号）

地方税法の改正に伴

び運営に関する基準等の一部を改正する省令が公布されたことに伴い、関連する条例の一括改正。

報告その他

●令和5年度 板野町一般会計継続費繰越計算書の報告

●令和5年度 板野町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告



**板野町教育
委員会委員
の任命に同意**

平尾 雅信 氏

（大寺）

坂東 恭 氏

（大寺）



各提出議案の詳しい内容は、板野町ホームページに掲載の会議録をご覧ください。

質問事項：農業振興について

農業振興による 町作り・地域作りを！



ね が や ま のぼる
根ヶ山 昇 議員

問

農業全体を取り巻く現状は、従事者の高齢化、後継者不足、輸入農産品との競合、農業機械・資材の高騰など非常に厳しい状況にある。本町の農業の現状をどのように捉え、現在どのように取り組んでいるのか。

答

水環境の改善、交付金の活用、鳥獣被害防止を図るなど一定の環境整備は整っていると考える。農家数の減少、遊休農地化が課題であり、担い手への農地の集積・集約化、農業者の確保がテーマである。このため「人・農地プラン」を基本に、農地中間管理事業を活用し農地の借り手を募集するなど、遊休農地の発生防止に努めている。

問

また、新規就農者育成総合対策事業を活用し、機械・施設等の導入支援や経営開始資金の交付など、新規に農業を始める方の支援をしている。

板野町の農業振興のため、施策や事業を効率的に組み合わせる結果が出せる取組をお願いしたい。

農業の魅力や、その活力の可能性は、農家の皆様だけでなく、農業に興味を持つ人たちが農産物を通じて人の交流を生み、その交流は観光行政にもつながり、移住・定住行政にも発展するものと考えている。農産物の振興を図りつつ、町や地域を作っていくような国や県・各種団体とも連携し、幅

答

広く充実した取組をお願いしたい。そこで、今後の農業振興を図るために中長期的視点に立った計画や構想はあるか。

課題について継続して取り組むとともに、消費者と結びついた農業の展開を図ることが必要。食育推進及び地産地消の観点から、学校給食に地元産の食材を取り入れたり、ブランドづくりとして春人参を利用した商品の展示商談会への出品支援や、新たな特産品の開発に取り組む。今年度、児童・生徒や保護者へ食育に関するアンケートを実施し、令和7年4月には「第4期板野町食育推進計画」を策定する予定。また、道の駅

「いたの」を農業振興の拠点と捉え、特産物直売所により地産地消の推進を図るほか、特産品を利用した新商品の開発支援、農業者への勉強会などを開催し、安定した農業経営が維持できるよう、国や県の補助事業も活用し、支援に取り組んでいく。



その他の質問

●防災対策に係る板野町国土強靱化地域計画に掲げた事業の実施方針や進捗状況について

一般質問の全文は、議会ホームページに掲載しています。

質問事項：新ごみ処理施設整備事業について

建設は2年8か月も間に合わない！



みはら だいすけ
三原 大輔 議員

問

新ごみ処理施設建設が当初の予定から2年8か月遅れとなり、新施設が稼働するまでの間、ごみは焼却せず施設外に搬出し、市外の処理施設に受け入れてもらうが、これからのごみ処理をどのようにしていくのか具体的な説明を求めたい。

新施設稼働までの2年8か月の間、ごみは市外の処理業者に引き受けてもらう予定だが、ごみ出しの方法は現行のままで良いか。

答

今までどおりのごみ分別とする予定。

問

広報紙等で周知していただきたい。

ごみを市外に運ぶ想定であるが、埋め立て処理は考えていないと思うが、どのような処理を行うか。

業者を検討しているか。

答

公募型プロポーザル方式（公募により提案を募り業者を選定する方式）により、内容を検討し、業者選定を行う予定。

再問

構成市町として、どのような処理方法を望むか。

答

埋立ては当然、選考の中に入らないと考える。

問

先日の全員協議会で7月から8月に掛けて業者を選定すると説明を受けたが、どのような方式で選定するのか。

答

公募型プロポーザル方式の予定。

再問

運営の限度額が35億円と価格ありきで話が進んでいるように感じるが、

入札ではなくプロポーザル方式を採用する理由か。

答

いろいろなごみ処理方法があるため、業者からの提案ということでプロポーザルを採用。例として見積りを取った。

問

見積りを取ったということ。また、公募で処理方法を提案された中で選択するという意味合いですね。

建設予定地は、地権者の事業用地が隣接したまま現在も契約交渉中だが、どのように進展しているのか。

答

必要な事業用地部分について、借地として地権者と交渉中である。

再問

事業用地を地権者の方が確保したまま、それが容認したまま交渉中ということがあるか。

うことか。

答

中央広域環境施設組合が必要な事業用地部分を借地として交渉している。

問

それを踏まえて、地権者の事業用地が隣接していると、地権者との間で良くないことが起こりそうに感じる。トラブルなどは想定しているか。

答

地権者はもちろん周辺地域の方々ともトラブルがないよう、契約に向けて交渉を進めている。



中央広域環境センター

その他の質問

● 防災対策について

質問事項：高齢者の補聴器購入費の
助成について

補聴器の購入に 助成を！



いしだ みつる
石田 実 議員

問

加齢難聴は65歳から74歳までに

3人に1人がかかり、75歳以上では約半数が難聴に悩んでいる。難聴になると、相手とのコミュニケーションが取りづらくなり、だんだんと孤立化していく。

孤立化することによって、認知機能にも影響を及ぼすことになる。また、災害時などに連絡もつきにくく、交通事故も心配である。

「一般社団法人日本補聴器販売協会」が行った調査によると、補聴器購入費助成制度を実施している自治体は、2023年4月28日現在で143か所であったものが、同じ年度の12月1日では237か所となっている。やはり高齢化が進

むにつれ、高齢者対策に力を入れられている

のではないかと。本町も非課税世帯に対し、補聴器購入に補助金を出してはどうか。

答

大きな声でも聞きづらい、両耳70dB

以上等の難聴となった場合に、聴覚障害6級の状態で身体障害者手帳の交付を受け、申請を頂ければ、徳島県障がい者相談支援センターで交付判定を頂き、原則1割の自己負担で補聴器の購入が可能となる。

診断書発行にも費用が掛かるが、金銭面よりも何よりも給付の判定を町で行うことができないため、県の機関で聴覚障害の判定を受けずに、町独自で補聴器の補助を行うことはでき

ないと考えている。

再問

難聴になると自立生活

の支障となる。高知県の町では、上限3万円の補助金が出る。また、四十十町においても、費用の2分の1で上限5万円の補聴器補助がある。それぞれ規定を作っている。例えば、本町でも100万円の予算で5万円の補助があつた場合には20人が受けられることになる。是非、検討していただきたい。

答

一生懸命、情報を拾って検討させていただきます。

その他の質問

●大規模災害時の対応について

●国民健康保険証とマイナ保険証について



一般質問の全文は、議会ホームページに掲載しています。

全員協議会報告



中央広域環境施設 組合 積替施設予 算について

令和7年8月からの現
施設を積替保管施設と
して利用・施設外へ搬出

新ごみ処理施設を令
和9年度末、整備工事
試運転の完了を目指し、
現施設の中央広域環境
センター（阿波市）で、
令和7年8月以降、ご
み焼却処理を行わず、
積替保管施設として利
用し、施設外へ搬出し
処理していく予定。

ごみの搬入量は、1
市2町（阿波市・上板町・
板野町）で、年間
（1万5,987.40
t）を見込んでいます。

今後の予定として、

7月から8月に掛けて
工事・積替搬出・運搬・
処理業務の業者の選定
の手続を行い、9月か
ら積替保管に向けた準
備を進め、令和7年7
月末日には、中央広域
環境センターでの焼却
処理を終了し、現施設
を積替保管施設として
施設外搬出を行う予定
であるとの説明があり、
この方針で進めていくこ
とを了承しました。



定額減税と給付 について

- 限度額 35億600万円
（令和7年度～令和9年度まで）
- 主な費用 積替保管施設の改造に要する費用
の一部1億3,750万円
積替搬出に要する費用、年間9,420万円、運搬・
処理に要する費用、年間11億6,860万円など
（令和6年度板野町負担額6,187万1千円）

所得税 最大3万円、住民
税 最大1万円 減税・給付

令和6年度中に、1
人当たり令和6年分の
所得税から最大3万円、
令和6年度住民税所得
割から最大1万円の減



令和6年10月以降 （65歳以上の方） コロナワクチンについて

（扶養親族の人数によっ
て減税額・給付額は異
なります。）

令和5年3月まで無
料で行っていた新型コロナ
ナウイルスに係るワクチ
ン接種は、令和6年度
から有料となる。65歳
以上の方また60歳から

自己負担額4千円を予定
している。



障がい者基幹支援 センターについて

64歳の方で心臓・腎臓
又は呼吸器の機能に障
害があり、身の回りの
生活が極度に制限され
る方等については、市町
村等の補助事業が行わ
れ、自己負担額は4千
円となり、他の方は、
任意接種として全額自
己負担となるとの報告
を受けました。

板野郡5町で基幹相談
支援センターを設置

令和6年度中に郡内
5町で設置し、専門職
を配置し、総合的な相
談業務や困難事例の相
談業務、障がいのある
人の高齢化や重度化、
家族の高齢化も見据え
た入院時など緊急時の
受入れ・各関係事業所
等とも連携するなど、



役場への大型車 通行禁止区間に ついて

徳島県警と解除の方向
で協議中

現在、役場へは大型
車が進入できない状況
になっており、さきの能
登半島地震また4月17
日の豊後水道を震源と
した高知、愛媛の地震
発生等を踏まえ、災害
時及び緊急時等への対
応として町民センター
南側から役場への進入が
できるよう進めている。
解除検討区間は、岡上
神社東側の三叉路から
町民センター南側空き
地周辺までの予定で、
町民センター南側からの
進入路を整備する説明
を受け了承しました。

行政視察

令和6年度

板野町戦没者追悼式

5月18日、町民センターで令和6年度板野町戦没者追悼式が行われました。115名の方が参列され、児童生徒や来賓、ご遺族の方々による献花が行われ、戦没者の方々のご冥福を祈りました。



5月13日に、群馬県吉岡町議会の予算決算常任委員会が板野町に行政視察に来られ、「わかりやすい板野の決算書」について、研修を行いました。

5月15日には北海道余市町議会、総務産建常任委員会が道の駅「いたの」の視察に来られました。

板野町消防団第5分団

(女性消防団) 発足式

板野町DWAT 発足式

5月1日に「板野町消防団第5分団(女性消防団)」が発足しました。平常時は各種研修や訓練への参加など防災・減災啓発活動を、災害時には女性ならではの視点に立った避難所運営への支援などに活躍されることが期待されています。

また、同日に「板野町DWAT(災害福祉チーム)」が発足しました。12名で構成されており、大規模災害が発生した場合、災害時要配慮者の福祉ニーズに対応し、避難所での生活機能低下など二次被害の防止を図りつつ、必要な支援を行います。



議会のつぎき・出席行事等

4月

4日 藍住町議会正・副議長来庁(就任挨拶)
東・西・南小学校入学式
9日 板野中学校入学式
11日 阿波市議会正・副議長来庁(就任挨拶)
16日 徳島県町村議会議長会役員会
徳島県議会・市議会議長会・町村議会議長会連絡調整会議
19日 板野郡町議会議長会定例会
20日 鳴門市新庁舎開庁記念式典

5月

1日 板野町消防団第5分団・板野町DWAT発足式
7日 議会広報特別委員会
13日 群馬県吉岡町議会来訪(行政視察)
15日 北海道余市町議会来訪(行政視察)
18日 板野町戦没者追悼式
20日 板野町商工会総会
21日 全国町村議会議長・副議長研修会(東京都)
25日 東・西・南小学校運動会
27日 産業建設常任委員会
28日 議会運営委員会

6月

4日 6月議会定例会1日目
(開会・町長提案理由説明等)
議員全員協議会
5日 総務文教常任委員協議会
6日 厚生常任委員協議会
10日 産業建設常任委員協議会
13日 6月議会定例会2日目(一般質問)
14日 議員全員協議会
6月議会定例会3日目(議案審議・閉会)
24日 議会広報特別委員会
25日 中央広域環境施設組合議会
徳島県町村議会議長会役員会

編集後記

議会だよりも初版から今回で6号となりました。

広報活動を町民の皆様により分かりやすく、関心を持っていただけるように、内容を広報委員会で精査しています。

6月定例会では、住民税定額減税と給付など重要な審議がされました。是非、議会ホームページの会議録を併せてご覧いただければと思います。

今後も、皆様方のご意見・ご感想などをお待ちしています。

議会広報特別委員 太田 良和

傍聴のご案内

定例会議は、3月・6月・9月・12月に開催します。議場でどのような発言をしているのか、お越しいただきお確かめください。お問い合わせは議会事務局にご連絡ください。

議会だより意見募集

議会だよりを、より充実した内容にするため、町民の皆様のご意見を募集します。議会だよりについてご意見いただける方は、下記の連絡先(電話・メール・FAX)まで、お願いいたします。